学校番号	403

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ　改訂版」（三省堂）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 常用漢字ダブルクリア　四訂版（尚文出版）　　論読　現代文３（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分で文章をたくさん読み、問題をたくさん解き、読解力の向上に励んでください。
・文章記述や話し合い等のアクティブな活動を取り入れた授業展開をおこないます。
・様々な文章の「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・授業の後には必ず復習をしてください。
・提出物の期限は守りましょう。
・定期考査前に焦って勉強するのではなく、日々の学習を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・近代以降の様々な文章を的確に理解することができる。
・適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・小説や評論などの多様な文章を読むことによって、作者、登場人物の心情を理解することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					主な評価の観点	主な評価の観点
			a	b	c	d	e		
一学期中間	評論(一)	論理性を身につける 教材: 『わかりやすいはわかりにくい？』 『「ブーボー」と「マンマ」の記号論』	○		○	◎		a:本文が語る内容を積極的に理解しようとする c:要約に取り組む。論理的な文章を読み取ろうとする d:論理的な文章で使われる言葉を理解し使えるようする	a:行動の観察 c:記述の点検 d:定期考査
一学期期末	小説(一)	小説を通して自分の考えを表現できる 教材: 『靴の話』	○	◎				a:本文の世界を積極的に理解しようとする b:グループ学習で友人の考えをよく聞き、自分の考えをまとめる本文の世界の背景を知ろうとする	a:行動の観察 b:発表
二学期中間	評論(二)	昔の言葉(伝統的な言葉)と現代の言葉との違いや変化を読みとる 教材: 『身体〈の〉疎外』 『判断停止の快感』	○		○	◎	○	a: 本文が語る内容を積極的に理解しようとする c:要約に取り組む、小論文を書く。 d:論理的な文章を読み取ろうとする。 e:現代社会の問題を理解する	a:行動の観察 c:記述の点検 定期考査 d:定期考査 e:定期考査
二学期期末	小説(二)	小説を通して背景を知る 教材: 『舞姫』	○	◎	○		○	a:本文の世界を積極的に理解しようとする b:グループ学習で友人の考えをよく聞き、自分の考えをまとめる。 c:発表の内容を文章にまとめる e:小説の技法(比喩や伏線等)を理解する	a:行動の観察 b:発表 c:記述の点検 e:定期考査
三学期	詩歌	詩歌を読み味わう 教材:樹下の二人 小諸なる古城のほとり	○	◎			○	a:詩歌の世界を積極的に理解しようとする b:自分で詩作する e:修辞法を知る、日本固有の表現を理解する	a:行動の観察 b:詩作 e:記述の点検 定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。